MBSD Cybersecurity Challenges

ASMツールアイデア提案

新潟コンピュータ専門学校
電子遊戯部（１）.exe

目次

現状の課題

現状の課題

IT資産管理の複雑化	• 企業のIT活用拡大による資産増加
未報告のIT資産	• セキュリティ意識の不足
セキュリティリスク	• 把握されていない脆弱性の存在

現状の課題

統合的な解決アプローチが必要

解決アプローチ

解決アプローチ

外部探索

内部検知

ASM

ONE

解決アプローチ

包括的なASMアプローチを実現します

アプローチの詳細

アプローチの詳細

外部探索

実現方法

- DNSスキャン
- WEBクローリング

特徴

- 自社の公開情報を客観的に把握
- 探索範囲の制限が必要

アプローチの詳細

内部検知

実現方法

- ログ分析
- ネットワークモニタリング

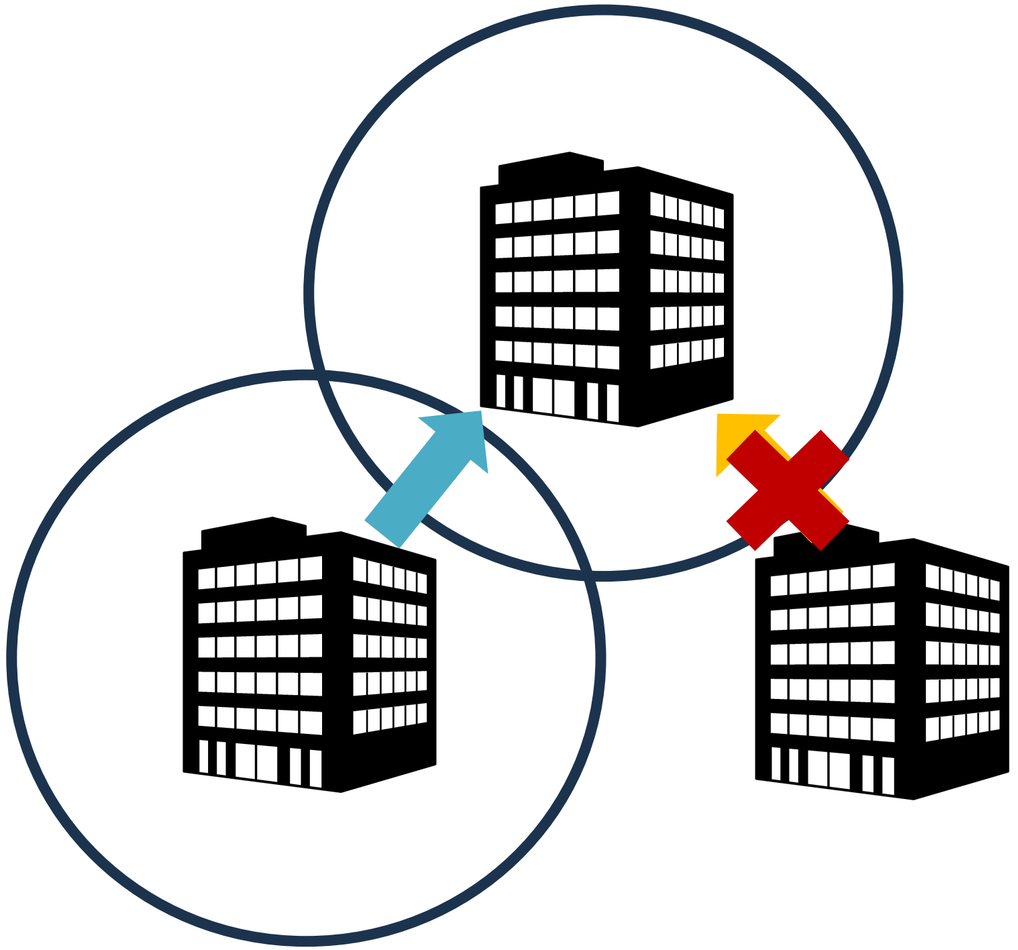
特徴

- リアルタイム監視と異常検知
- システム負荷の管理が必要

ゼロトラスト

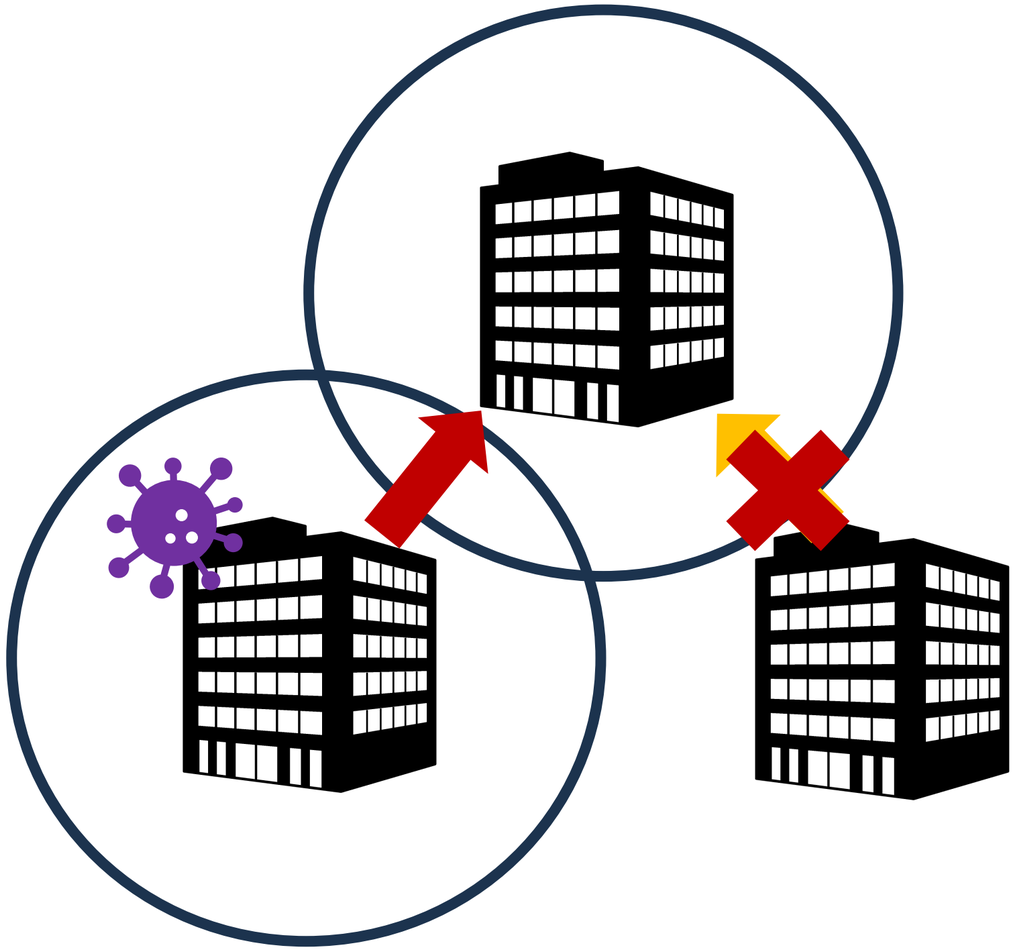
Trust(信頼)をZero(しない)

ゼロトラスト



境界型防御

ゼロトラスト



IT資産の複雑化による境界型防御の限界

ゼロトラスト

ゼロトラスト

現状、ログデータなどを根拠としたゼロトラストを行っている

ゼロトラスト

ゼロトラスト
すべてを信頼しない戦略は

人間特有の柔軟性を持った思考や独創性を
損ってしまうかもしれない

ゼロトラスト

セキュリティ対策は「**技術だけ**」
では完結しない

ASM + ONEの提案

ASM + ONEの提案

ASM ＋ONEの特徴

外部探索

内部検知

＋

人的収集

人的収集の詳細

人的収集の詳細

勉強会方式

人的収集の詳細

勉強会について

勉強会の形式

- 企業の規模などを考慮した勉強会
（セミナー、WEB、動画の受講）
- 参加者が質問できる双方向型

内容構成

- ASMについての講義
- サイバーセキュリティの動向
- シャドーITのリスクと対策
etc…

人的収集の詳細

懇親会について

懇親会の形式

- 自由なテーマでシャドーITやASMについての発表（LT会）
- セキュリティやITへの関心を持ってもらう目的

内容構成

- 勉強会を受講して持った質問を担当者へ
- 業務上の課題、IT分野の疑問についてカジュアルに話し合う

人的収集の詳細

勉強会の狙い

勉強会方式

- ITリテラシー向上を図る
  - 社員による法令違反を 低減させる狙い
  - セキュリティ意識を高められる

→外部関係者へのリスクを抑えることにつながる

人的収集の詳細

人的収集のデータ活用

情報の精度

- 必要に応じて勉強会直後に確認テストを行い、各回答者の信頼性を測る
- 外部内部の情報とかけ合わせて裏付ける

人的収集の詳細

情報収集の具体策

アンケートの設計

- 懇親会終了直後に実施する
- 選択式中心＋一部記述式
- 回答しやすい設計
  →QRコードを表示してGoogleFormで回答

人的収集の詳細

アンケート例

Q4. 業務をする上で使用を許可、または新しく導入してほしいIT資産があれば教えてください。[記述式]

回答を入力

Q4. 本日の勉強会を踏まえて、あなた自身が報告していないIT資産があれば教えてください。[記述式]

IT資産名：

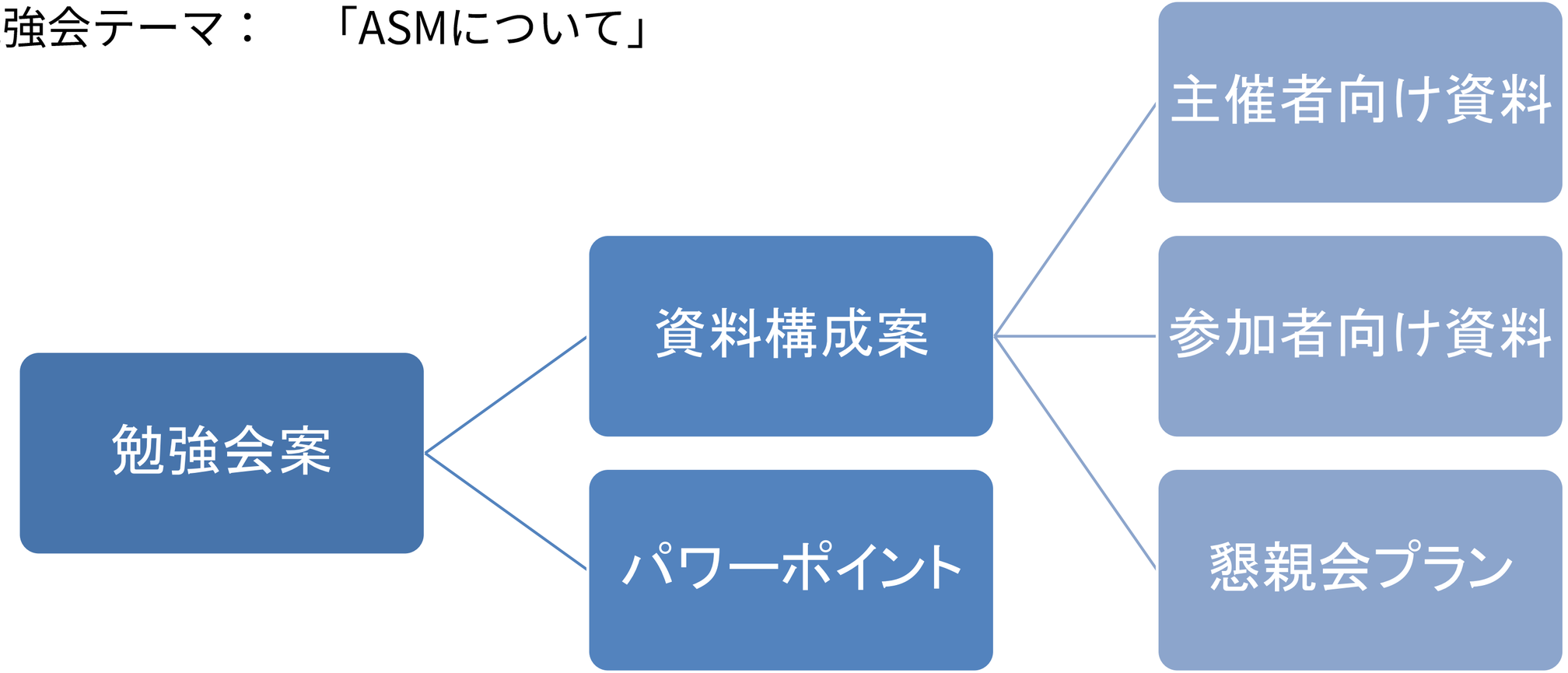
Q3. 情報資産管理の課題について当てはまるものを選択してください。[複数選択]

- [ ] 管理対象の把握が不十分
- [ ] 棚卸・管理台帳の更新が滞っている
- [ ] 申請/承認プロセスが形骸化している
- [ ] 全体的な管理ルールが浸透していない

人的収集の詳細

実践イメージ

勉強会テーマ：　「ASMについて」



人的収集の詳細

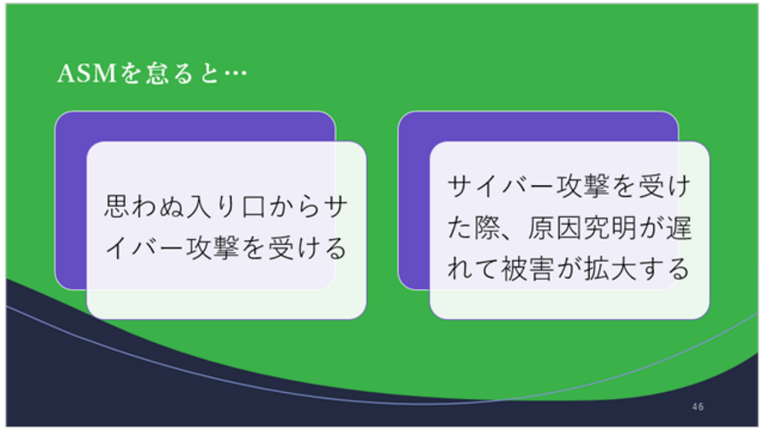
実践イメージ

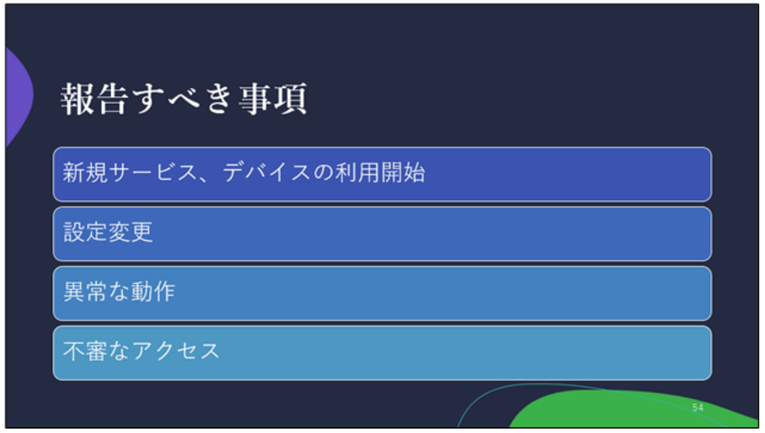
資料イメージ

https://mbsdcc2024-view.pages.dev/

人的収集の詳細

実践イメージ





人的収集の詳細

ASM + ONE の特徴

勉強会での
セキュリティリテラシー向上

アンケートを通じた情報収集

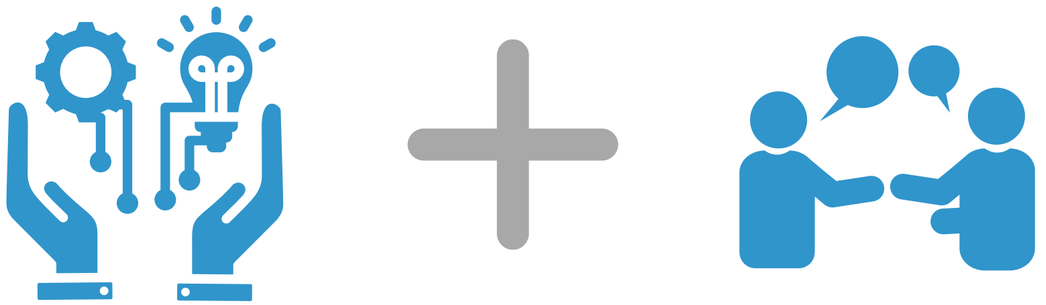
懇親会による
社内コミュニケーションの活性化

ASM + ONE の特徴

社員間の交流で結束力を強化
しシャドーITリスクを根本的・
継続的に排除する

未来志向のアプローチ

ASM + ONE の本質

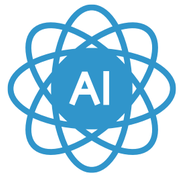


未来へつながる持続可能な
ASMアプローチを実現

終わりに

今後の展望

AI ・機械学習による分析の高度化
（人的収集とのバランスをとる）



自動化による効率化
（プロセスの最適化）

技術的側面について検証
を行って、総合的にASM
の実現性を高める

終わりに

外部探索

内部検知

＋

人的収集

終わりに

ONEの意義

Open communicate

Next generation

Enhanced security

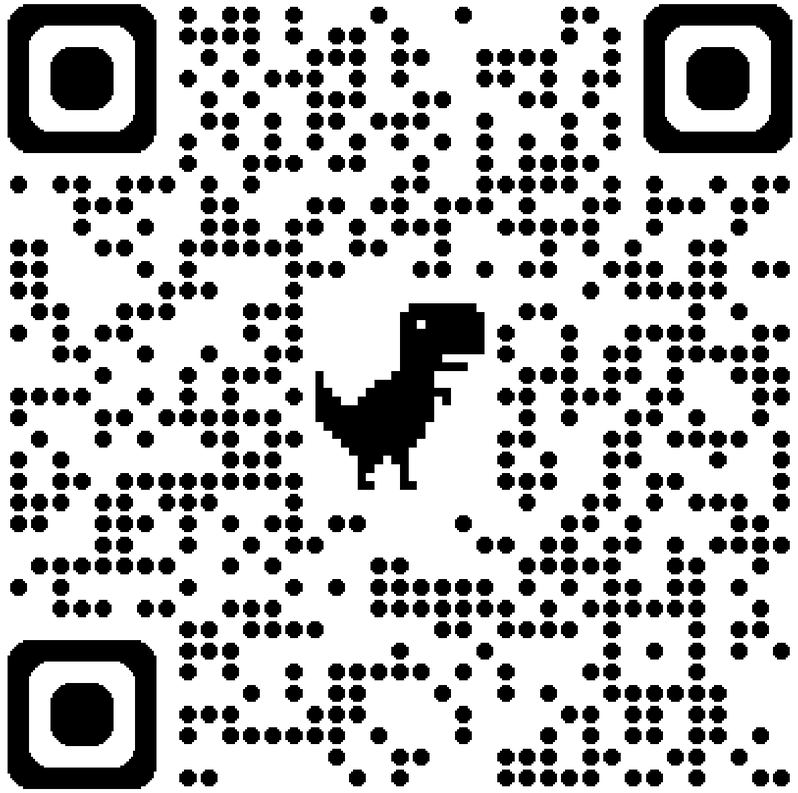
ASM + ONE

MBSD Cybersecurity Challenges

ご清聴ありがとうございました

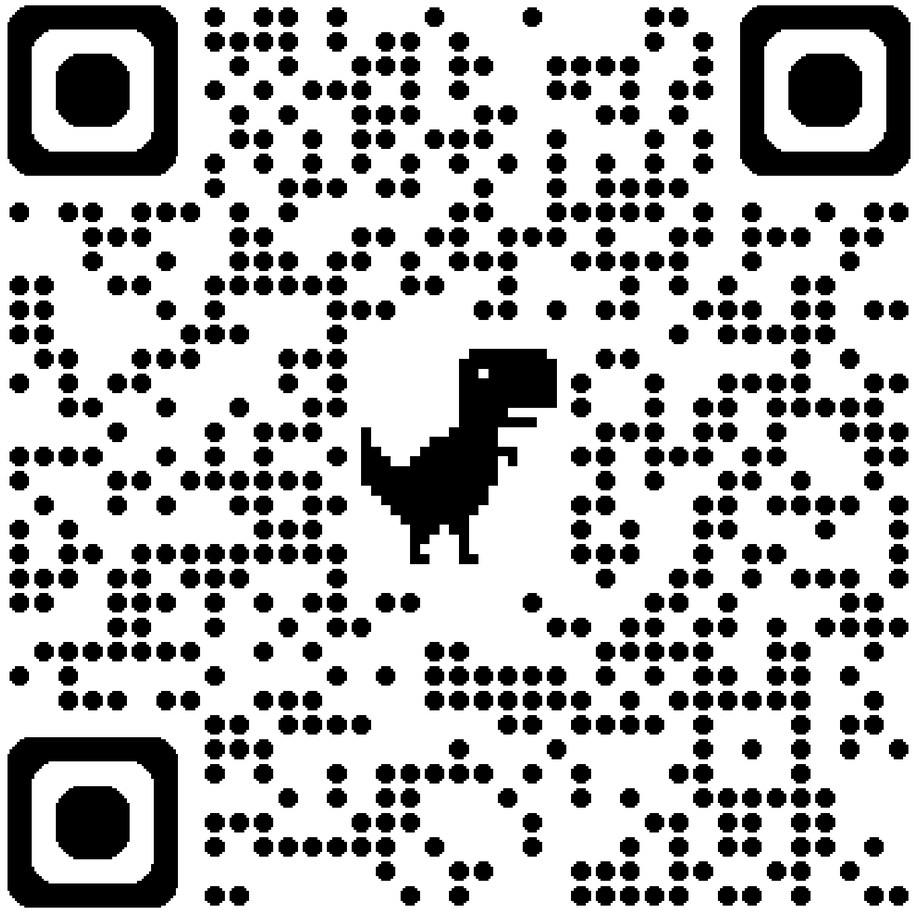
新潟コンピュータ専門学校
電子遊戯部（１）.exe

質疑応答



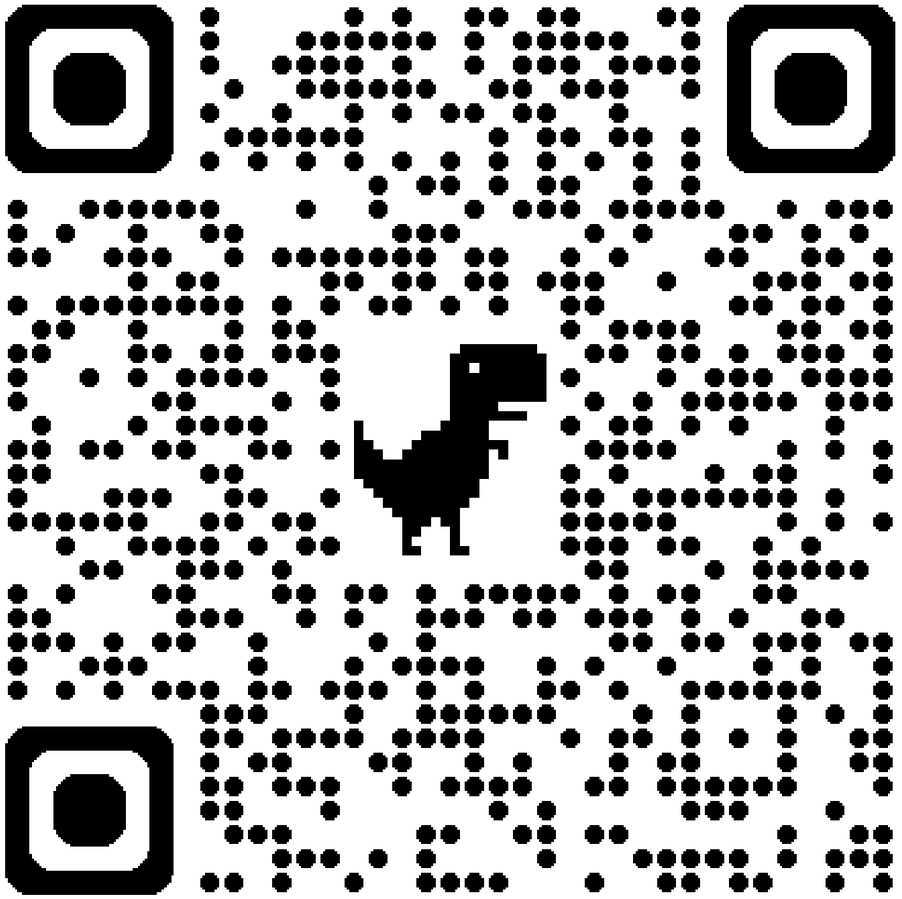
資料イメージ

https://mbsdcc2024-view.pages.dev/



資料イメージ

https://mbsdcc2024-view.pages.dev/



資料イメージ

https://content-viewer.onrender.com/